

## 令和2年6月1日現在の世帯数と人口

(千種区 18.18Km<sup>2</sup>)

学区名	世帯数	人 口			対前月増減	
		総数	男	女	世帯数	人口
1 千 種	5,525	8,833	4,499	4,334	11	10
2 千 石	4,064	6,849	3,448	3,401	△ 8	△ 5
3 内 山	5,834	7,994	4,237	3,757	9	7
4 大 和	3,460	6,718	3,299	3,419	2	7
5 上 野	7,454	15,558	7,719	7,839	16	37
6 高 見	7,425	13,486	6,443	7,043	3	△ 16
7 春 岡	7,051	11,082	5,804	5,278	△ 4	△ 4
8 田 代	11,559	21,948	10,577	11,371	6	9
9 東 山	10,468	19,543	9,653	9,890	3	△ 2
10 見 付	4,346	8,038	4,065	3,973	2	3
11 星ヶ丘	3,556	6,952	3,147	3,805	△ 9	△ 13
12 自由ヶ丘	3,538	7,148	3,255	3,893	△ 4	△ 2
13 富士見台	6,482	15,294	7,102	8,192	3	8
14 宮 根	3,881	8,201	3,902	4,299	△ 1	△ 3
15 千代田橋	3,707	8,430	3,968	4,462	△ 11	△ 18
千 種 区 計	88,350	166,074	81,118	84,956	18	18
R1. 6. 1	87,751	165,958	81,048	84,910	△ 1	19
対 前 年 比	599	116	70	46	19	△ 1
名 古 屋 市	1,127,381	2,330,178	1,150,335	1,179,843	250	40
愛 知 県 ( R2. 5. 1 )	3,267,024	7,552,224	3,779,270	3,772,954	11,631	9,592

前月中の増減内訳	自然動態			社会動態		
	出 生	死 亡	自然増減	転 入	転 出	社会増減
	76	108	△ 32	1,069	1,019	50

【参考】	国勢調査千種区人口				これまでの最大人口	
	昭和55年	166,837	平成12年	148,537	173,598 (昭和50年2月1日)	
	昭和60年	163,762	平成17年	153,118		
	平成2年	156,478	平成22年	160,015	これまでの最少人口	
	平成7年	148,847	平成27年	164,696	146,727 (平成11年4月1日)	

注) 世帯数と人口は、平成27年国勢調査結果確定値を基礎とし、毎月の住民基本台帳人口の異動数を加減して推計したものである。

## 千種区の年齢3区分別人口の概況

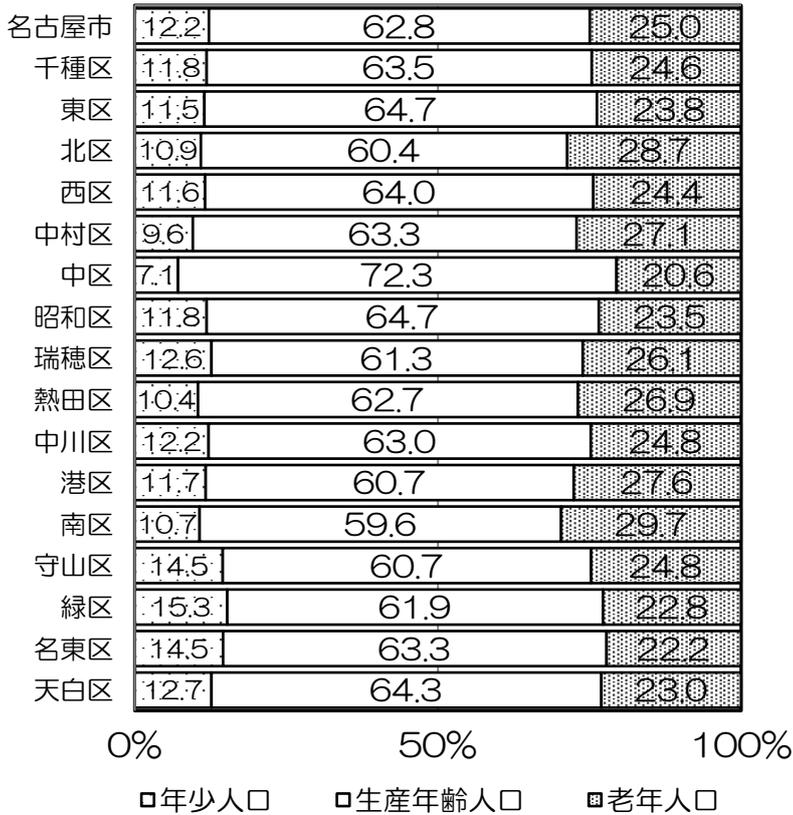


図1：区別年齢3区分別人口比率（令和元年10月1日現在）

今回はまず、千種区の年少人口（15歳未満）、生産年齢人口（15～64歳）および老年人口（65歳以上）の比率について見てみます（図1）。

名古屋市全体および各区の令和元年10月1日現在の年齢3区分別人口比率をみると、年少人口比率は緑区が15.3%と最も高く、千種区は11.8%で16区中7位です。

生産年齢人口比率は中区が72.3%と最も高く、千種区は63.5%で16区中6位です。

老年人口比率は南区が29.7%と最も高く、千種区は24.6%で16区中9位です。

千種区の3区分別人口比率は名古屋市の比率とほぼ同じとなっています。

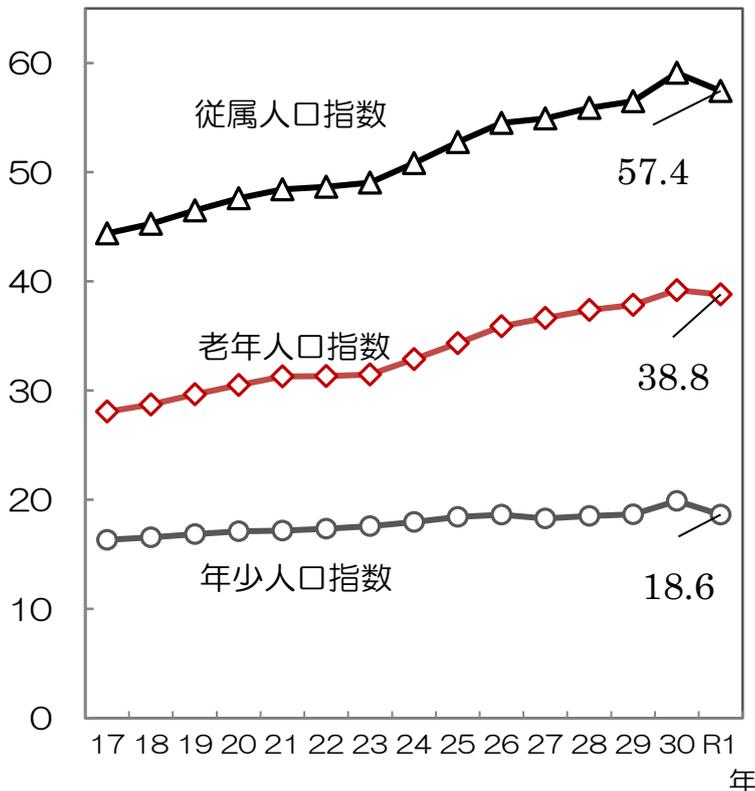


図2：千種区の年齢構成指数の推移（各年10月1日）

次に、千種区の年齢構成指数の推移を見てみます（図2）。年少人口指数および老年人口指数は、生産年齢人口100人が年少者または高齢者を何人支えるかを示すものです。また従属人口指数は、年少人口指数と老年人口指数を合計したものです。

千種区の令和元年の年少人口指数は18.6、老年人口指数は38.8で、上昇傾向が続いていた昨年までとは一転して下降しており、16区中の高い方からそれぞれ8位と9位となっています。また、千種区の令和元年の従属人口指数は名古屋市全体（59.2）及び平成30年の千種区従属人口指数（59.1）を下回り57.4です。これは16区中高い方から11位（平成30年：8位）となっています。